

# グローバル・ストック Cコース (為替ヘッジあり 毎月分配型)

## 愛称：世界樹

追加型投信／内外／株式

### 交付運用報告書

第34期(決算日2018年10月29日)

第35期(決算日2018年11月27日)

第36期(決算日2018年12月27日)

第37期(決算日2019年1月28日)

第38期(決算日2019年2月27日)

第39期(決算日2019年3月27日)

作成対象期間(2018年9月28日～2019年3月27日)

第39期末(2019年3月27日)	
基準価額	10,008円
純資産総額	2,452百万円
第34期～第39期	
騰落率	△ 3.7%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

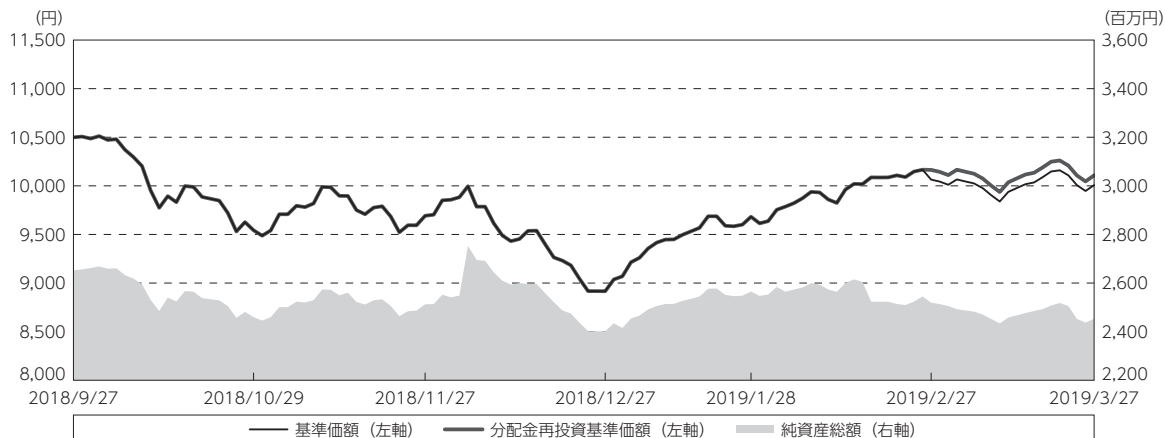
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2018年9月28日～2019年3月27日)



第34期首：10,499円

第39期末：10,008円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率：△ 3.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年9月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

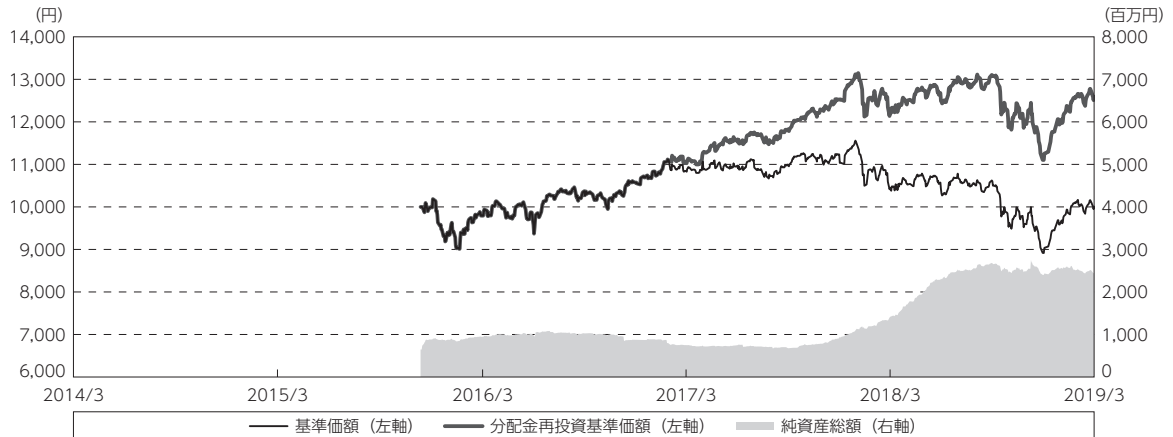
基準価額は、当作成期首10,499円から当作成期末には10,008円となりました。

- ・実質的に投資している世界株式からのキャピタルゲイン (またはロス) (価格変動損益)
- ・実質的に投資している世界株式からのインカムゲイン
- ・為替取引によるコスト (金利差相当分の費用) またはプレミアム (金利差相当分の収益)



## 最近5年間の基準価額等の推移

(2014年3月27日～2019年3月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2015年12月9日です。

	2015年12月9日 設定日	2016年3月28日 決算日	2017年3月27日 決算日	2018年3月27日 決算日	2019年3月27日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,793	10,848	10,450	10,008
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	200	1,600	700
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.1	12.8	11.3	2.4
純資産総額 (百万円)	646	946	750	1,410	2,452

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年3月28日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

**投資環境**

(2018年9月28日～2019年3月27日)

世界株式市場は、米中通商問題に対する警戒感が高まったことに加え、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長による中立金利水準を超えて利上げを進める可能性があるとの発言を受けて、米国金利が上昇したことなどを背景に、米国経済の減速懸念が高まったことなどから、2018年12月にかけて軟調に推移しました。その後は、FRBが金融引き締めに慎重な姿勢を表明し、米国の景気減速懸念が後退したことや、ドラギECB（欧州中央銀行）総裁が金融緩和は引き続き必要との認識を示したことなどから堅調に推移しましたが、当作成期間では値下がりとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2018年9月28日～2019年3月27日)

**[グローバル・ストック Cコース]**

〔ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA〕 受益証券への投資比率は、概ね高位を維持しました。

**[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA]**

主要投資対象である〔ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストック〕 のポートフォリオにおける株式等組入比率は、当作成期末現在で、97.8%となりました。同ポートフォリオにおける業種別配分は、当作成期末現在で、金融、情報技術、ヘルスケアなどの比率が高めとなりました。国別配分では、米国、日本、オランダなどの比率が高めとなりました。業種別・国別配分の観点から分散されたポートフォリオの構築を行いました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

**[野村マネー マザーファンド]**

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

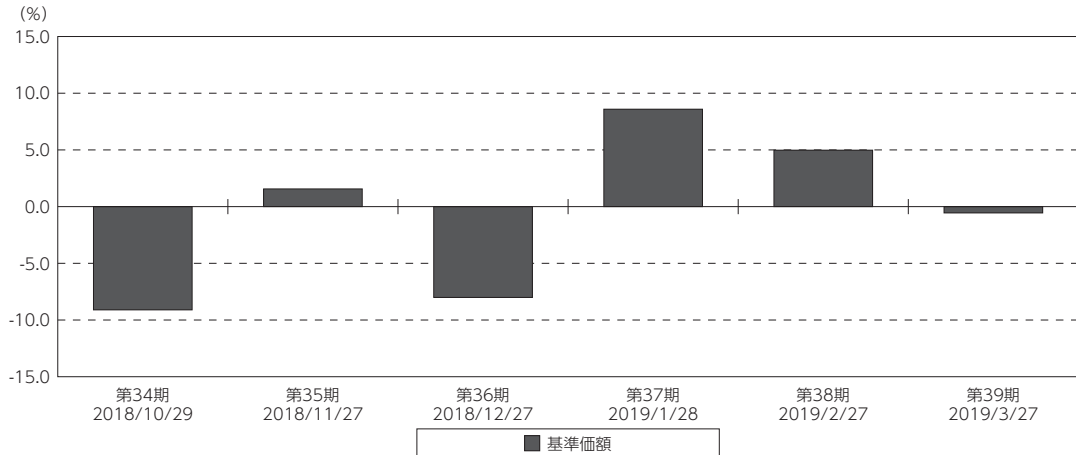
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年9月28日～2019年3月27日)

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

(2018年9月28日～2019年3月27日)

収益分配金は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益等から基準価額水準を勘案して決定いたしました。

なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第34期	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
	2018年9月28日～ 2018年10月29日	2018年10月30日～ 2018年11月27日	2018年11月28日～ 2018年12月27日	2018年12月28日～ 2019年1月28日	2019年1月29日～ 2019年2月27日	2019年2月28日～ 2019年3月27日
当期分配金	-	-	-	-	100	-
(対基準価額比率)	-%	-%	-%	-%	0.984%	-%
当期の収益	-	-	-	-	-	-
当期の収益以外	-	-	-	-	100	-
翌期繰越分配対象額	838	838	839	839	739	740

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [グローバル・ストック Cコース]

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA] 受益証券への投資比率を高位で維持することを目指します。

### [ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA]

世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。ファンドでは、世界経済の成長を取り込み、優れた利益拡大が期待できる先進国のグローバル企業に着目し、運用を行います。

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

### [野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年12月9日から2026年3月27日までです。	
運用方針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。各受益証券への投資比率は、通常の状態においては、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。投資する外国投資信託において、組入外貨建て資産について原則として為替ヘッジ（一部の通貨においては、米ドル売り円買いの為替取引）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要投資対象	グローバル・ストック Cコース	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マルチ・ マネージャーズ・ ファンドⅢーグローバル・ ストックークラスA	世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運用方法	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。なお、決算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払済みの分配金累計額は加算しません。）が11,000円以上の場合は、分配対象額の範囲内で、別に定める金額の分配を行うことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

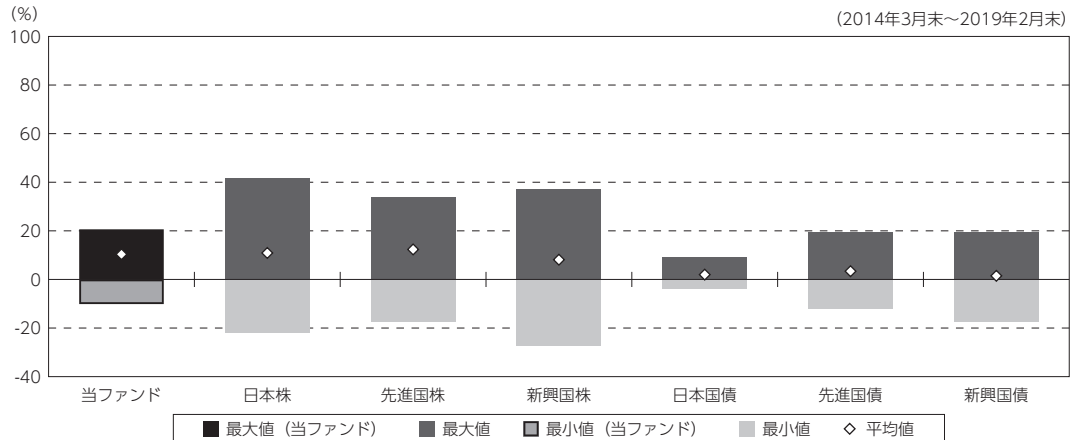
※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。



(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.6	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 10.1	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	10.3	10.9	12.3	8.1	2.0	3.4	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年3月から2019年2月の5年間(当ファンドは2016年12月から2019年2月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

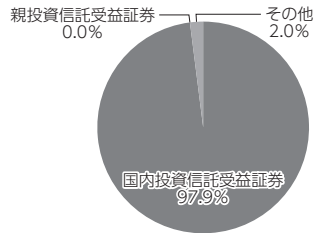
## 組入資産の内容

(2019年3月27日現在)

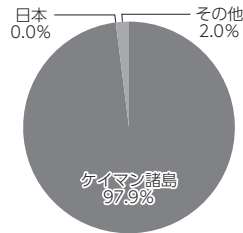
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第39期末
	%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-グローバル・ストッククラスA	97.9
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

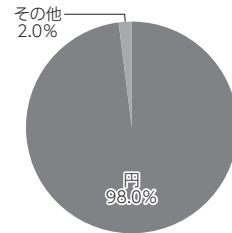
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

## 純資産等

項目	第34期末	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末
	2018年10月29日	2018年11月27日	2018年12月27日	2019年1月28日	2019年2月27日	2019年3月27日
純資産総額	2,459,636,898円	2,512,507,951円	2,401,800,527円	2,565,057,143円	2,519,216,005円	2,452,548,243円
受益権総口数	2,577,485,612口	2,592,218,916口	2,693,708,299口	2,649,321,877口	2,503,316,429口	2,450,673,016口
1万口当たり基準価額	9,543円	9,692円	8,916円	9,682円	10,064円	10,008円

(注) 当作成期間中（第34期～第39期）における追加設定元本額は287,300,171円、同解約元本額は362,728,940円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢーグローバル・ストックークラスA

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。  
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

#### 【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

#### 【1万口当たりの費用明細】

(2017年1月1日～2017年12月31日)

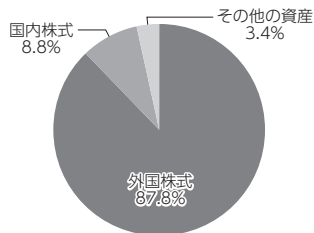
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

#### 【組入上位 10銘柄】

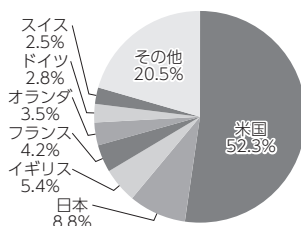
(2017年12月31日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率 %
1 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	米国	3.4
2 ALPHABET INC A	情報技術	米ドル	米国	2.4
3 VISA INC CLASS A SHS	情報技術	米ドル	米国	1.9
4 KDDI CORP	電気通信サービス	日本円	日本	1.9
5 ANTHEM INC	ヘルスケア	米ドル	米国	1.7
6 ROYAL DUTCH SHELL B	エネルギー	英ポンド	オランダ	1.6
7 BIOGEN INC	ヘルスケア	米ドル	米国	1.5
8 STARBUCKS CORP	一般消費財・サービス	米ドル	米国	1.4
9 NIKE INC B	一般消費財・サービス	米ドル	米国	1.4
10 CITIGROUP INC	金融	米ドル	米国	1.3
組入銘柄数		182銘柄		

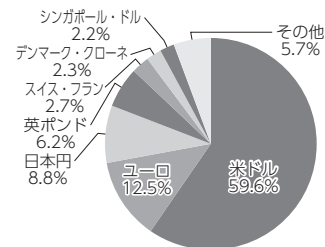
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書 (全体版) に記載しております。

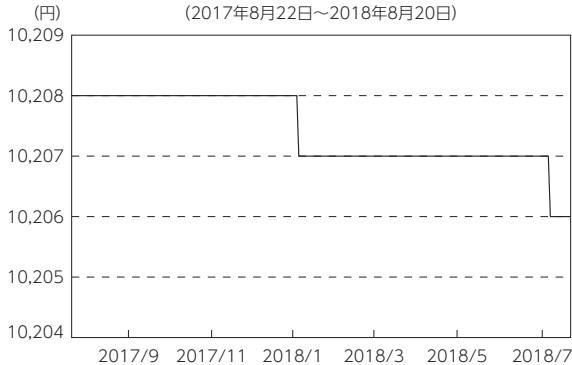
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2017年8月22日～2018年8月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年8月22日～2018年8月20日)

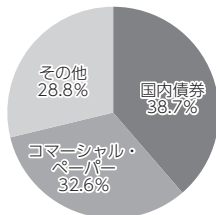
該当事項はございません。

【組入上位 10 銘柄】

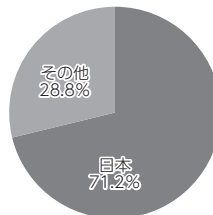
(2018年8月20日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率 %
1 中日本高速道路債券 財投機関債第5回	特殊債	円	日本	7.4
2 ミツビシUFJニコス	コマーシャル・ペーパー	円	日本	7.4
3 ミツビシシヨウジ	コマーシャル・ペーパー	円	日本	7.4
4 クレディセゾン	コマーシャル・ペーパー	円	日本	7.4
5 農林債券 利付第762回い号	金融債	円	日本	5.2
6 NTTデータ 第22回社債間限定同順位特約付	社債	円	日本	4.5
7 しんきん中金債券 利付第288回	金融債	円	日本	4.4
8 ホンダファイナンス	コマーシャル・ペーパー	円	日本	3.7
9 しんきん中金債券 利付第287回	金融債	円	日本	3.3
10 関西電力 第469回	社債	円	日本	2.2
組入銘柄数		26銘柄		

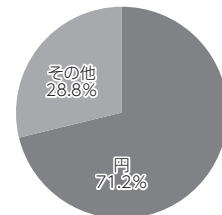
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書 (全体版) に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)





### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2019年3月27日現在)

年 月	日
2019年3月	—
4月	19、22
5月	27、30
6月	10
7月	4
8月	15、26
9月	2
10月	—
11月	1、11、28
12月	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。